

子どもの生活実態調査実施状況報告（速報）

（１）アンケート調査

対象・方法	市内の小学５年生及び中学２年生並びにその保護者（全数） 市立学校に通う児童・生徒の場合は学校を經由して各家庭に調査票を配付し、郵送にて回収 私立等の学校に通う児童・生徒の場合は各家庭に調査票を郵送し、郵送にて回収	
実施時期	平成 30 年 9 月	
回収状況	小学生 988 件（41.9% ※対象者 2,360 件） 中学生 870 件（38.0% ※対象者 2,288 件） 保護者 1,870 件（40.2% ※対象者 4,648 件） ※上記の件数はいずれも 10 月 1 日回収分まで（白紙回答等を含む）	
調査事項	児童・生徒	基本的な生活習慣や健康、家族や友だち等との人間関係、放課後の過ごし方、学習の状況、悩みごと、など
	保護者	収入・家計の状況、就業の状況、基本的な生活習慣や健康、子どもや周囲の人との人間関係、悩みごと、など

（２）ヒアリング調査

対象・方法	学校関係者、福祉関係団体等：18 機関・団体 （子ども家庭支援センター、保健センター、保育関係者、教育関係者、放課後児童関係者、市民活動センター、学習支援団体、子ども食堂、フリースクール、若者自立支援団体） 【方法】面談による聞き取り（個別ヒアリング及びグループヒアリング）、ならびにヒアリングシートへの記入による回答 児童扶養手当受給世帯の保護者：20 名 【方法】面談による聞き取り（市役所窓口における個別ヒアリング）	
実施時期	平成 30 年 8 月～10 月	
調査事項	学校関係者、福祉関係団体等	関わりを持っている保護者・子どもに見られる課題等の内容、支援が必要な方の主な背景、今後必要と考える支援策等
	児童扶養手当受給世帯の保護者	生活・家計に関する悩み、子ども・子育てに関する悩み、悩みごとの相談相手、支援策等に関する要望等